

活 汲 村 物 語

NO. 32

活汲村物語～津別町活汲中央 in 和牛「(有)金田牧場」

「(有)金田牧場」は元牛 300 頭を有し、現在は和牛飼育専業牧場です。

初代金田幸太郎さんが明治 41 年 11 月に富山県から入植しました。畜産業の始めは馬 6 頭の飼育から始まり、昭和 29 年には網走川傍に移転して搾乳 40 頭の牧場になりました。昭和 56 年にはホルスタイの搾乳から肉牛飼育に切り替え、平成に入った頃から和牛飼育専業になりました。平成 4 年の大きな台風で網走川が氾濫し、その後に代替で現在地の活汲中央町道 205 号線に移転しました。

三代目金田哲男さんは地域の為に働いてこられた元町議会議員さんです。「皆のおかげで今日があり、自分だけでは生きていけないです。」と話をしてくれました。また、五代目孫の為に家紋入りの旗型の鯉幟をプレゼントする意気なゾイちゃんである。



現在の経営は四代目和久さんに受け継がれており、津別町の酪農家 5 戸で「流水ファームグループ」を作り飼育から販売など共同で勉強・研究している。銘柄の特許、津別町ふるさと納税お返し品で販売もしています。子牛から繁殖まで一貫体系を目指し、日々勉強を怠らず現状をしっかりと把握しているバイ列ティ-あふれる酪農経営者です。(お問合せ ☎ 0152-76-4262)

やさい歳時記● ネットショップ店「ヤナセ農園」が営業中。

「ヤナセ農園ホームページ」に作業風景や日々の出来事・地域に寄せる思いなどをお知らせしたく公開しています。

津別町ふるさと納税お礼の特産品にヤナセ農園『ふるさと便野菜「活汲村物語」シリーズ』が掲載されています。新鮮な旬の野菜を皆様にお届けします。

検索は、[ふるさとチョイス](#) > [北海道](#) > [津別町](#) で閲覧できます。(写真は⑥こふき南瓜)

